

## 消防本部

### 運営方針

#### 災害対応能力の向上と火災予防の推進

各種災害や火災などの発生に迅速かつ的確な対応ができるよう、効果的な訓練の実施や研修派遣の充実により、消防職員の資質・能力を向上させるとともに、消防施設、資機材等の機能強化を進めることで、消防・救急救助体制の確立を図ります。

また、地域消防団をはじめ、医療・防災関係機関との訓練や意見交換の機会を充実させ、さらなる連携強化を目指すとともに、立入検査体制の充実や、効果的な火災予防運動を展開することで市民の防火意識の高揚を図り、火災の未然防止や被害軽減を目指します。

#### 【重点施策とめざす方向】

##### 消防・救急救助体制の強化 (災害活動能力の向上)

市民の生命、身体及び財産を守るため、訓練、教養を組織的、計画的に実施するとともに、施設・設備の整備を行い、あらゆる災害に対する活動能力の向上を図ります。



#### 【実績】

##### 目標どおり達成

活動能力の平準化を図るための訓練実施要領を改正し、每当務の訓練実施を義務付けるとともに、必要な訓練の項目をリスト化することで、効率的な訓練実施体制の確立を図りました。

##### 消防職員の人材育成の推進

消防職員が多様な職務を経験し、幅広いスキルを身に付けることにより職務遂行能力を高めるため、人事ローテーションの活性化をはじめ、課を越えたOJTの実施、各種研修派遣を行うことにより、個々の能力向上と組織力の強化を図ります。



##### 目標どおり達成

コロナ禍による研修催時期の変更や、オンライン方式への切り替えなどにもその都度対処し、計41名の職員を教養計画に基づく消防学校等への研修に派遣することで人材の育成に努めました。また、予防課員による、予防技術検定受験予定者及び署査察担当者に対する教養研修を実施し、4名の検定合格に寄与するとともに、署員の査察能力向上を図りました。

##### 消防団、医療・防災関係機関との連携強化

地域防災の要である消防団との合同訓練の実施や医療・防災関係機関との勉強会、担当者会議などを開催することにより、平素から顔の見える関係を構築し、大規模災害時に円滑な災害活動を可能とする連携強化を図ります。



##### 目標どおり達成

医療・防災関係機関との大規模な訓練はコロナ禍の影響により実施困難な状況でしたが、時期を変更するなどし、実施が可能なものについては出来る限り実施しました。また、消防団、医療機関との定期的意見交換は、感染防止に留意したうえでの開催機会を保持することで、特にコロナ対策等の情報共有を行い、連携体制の強化を図りました。

##### 立入検査および効果的な啓発による火災予防の推進

立入検査の実施により、防火対象物での火災発生時の未然防止及び被害軽減に努めるとともに、効果的な啓発活動を実施し、市民の火災予防思想の高揚を図ります。



##### 目標どおり達成

目標としていた数の対象物に対して、予定通り立入検査を実施し、火災の未然防止を図りました。また、防火図画展、表彰式及び防火ポスターを制作するとともに、本市独自の住警器設置促進ポスター、動画作成に取り組み、火災予防の啓発につなげました。